

1. 開会

総合センター所長あいさつ

出席者確認

(11名の出席により過半数に達しているので会議の成立を宣言)

2. 総合センター運営審議会委員の紹介

各委員を事務局(北出主幹)から紹介

3. 議事

議題1 総合センター事業と利用状況について

(2003年4月～2004年2月)

事務局から資料1・2にそって説明(宮脇所長補佐)

(資料1・2・3については市政情報コーナーに掲示)

(質疑応答など)

【委員】 諸講座・教室の参加費用について、どうされていますか。

【事務局】 原則無料です。児童館の教室等では、入場料・交通費・材料費等については実費を払ってもらっています。

【会長】 利用件数の2,209件は昨年と比較してどの部分が増えていますか。

【事務局】 センター事業は1,261件から1,341件へ、その他が649件から868件へと増加しています。

【会長】 両方の部門で増えているのですね。

【委員】 ストリートミュージックをやっているが、中学生以上の参加者の状況はいかがですか。

【事務局】 昨年度に引き続き2回目の実施です。彼らの活動の場を保障するもので、出演者と同じ年代の中高生がほとんどで、運営も彼らに任せたがマナーも良かった。

【会長】 若い層をターゲットにしたおもしろい企画ですね。

【委員】 中学生の学びの内容を教えてほしい。

【事務局】 いろんなことをやっていこうと、子どもたちと相談しながらすすめている。

【会 長】 いまの子どもはアイコンタクトができない。相手の目を見て話ができない。特に小学生に対して重点的にやってほしい。自分の意見を言える子どもを育てることが大事です。

【委 員】 人権啓発映画の参加者が少ない。地域で実施しても参加者は少ない。なにか他の事業と組み合わせて実施したほうよいのではないですか。

【事務局】 人権週間の時など、いい映画を上映すると満席になりますが、現在のビデオは著作権の問題があるものもあり、なかなか人を集めるのがむづかしい。

【会 長】 芦屋市では、そこそこの参加者があるのですが、状況を調べて参考にしてください。

議題 2 新年度の総合センターの運営について

事務局から説明（資料なし）

（質疑応答など）

【委 員】 何か新規の事業はありますか。

【事務局】 ほぼ現状どおりの内容であるが、地域の中学生を引き込むための事業、福祉との連携による子育て支援事業、高齢者の介護の講座や和太鼓教室など楽しく交流できる講座を工夫して実施していきたい。

【会 長】 17年度は事業効果の少ないものは他へ振り替えることを考えてほしい。
ロビーに有料でよいから、湯沸かしを置いて、インスタントコーヒーを飲めるように考えてほしい。

【事務局】 そのアイデアは市民懇話会からの意見でもあったが、関係者の同意を得られず断念した。その代わりとして、夜間の事業参加者等の利便性を考え、自動販売機を設置した。コーヒーは湯沸かし設備の問題があるが、今後検討する。

【委 員】 第三者に外部から事業評価をしてもらうことも大事。

【委 員】 オンブズパーソンは、議会の議決によってもう一度事業を見直す良い機会になった。

議題3 その他

事務局から資料3について説明（パネルも提示）

（質疑応答など）

【委 員】 落書きはいまだに無くならない。なにをしたらいいのか、必要な事業は何なのかを考えることが大事。、

【会 長】 何故落書きをするのか、書いた人の立場になって考え、その心理状態や背景を分析する必要がある。世の中がおもしろくない、抑圧された人、自己実現できない人などいる。放火犯に似て、騒ぎが大きくなるのを待っている者もいる。

【委 員】 川同協の大会で、部落の人は何か違うのではという偏見を持っている方がおり、まだまだ垣根があると感じた。